

sponsored by
タウンワーク
TOWNWORK



学生の夢を応援する「Campus Life+1」
追跡! Dreamerたちの



今年で5回目を迎える学生の夢応援プロジェクトCampus Life+1。
これまでに何万人もの学生が自身の夢について真剣に考えてくれました。
今回は、過去にCampus Life+1に参加したことで、自分の夢がどのようになったのか？
また自分自身どのように成長したのか？を追跡取材してきました。



札幌新陽高等学校
特進国際コース3年生
菅原衣織さん | 17歳
北海道出身。高校では書道部に所属。昨年のCampus Life+1コンテストにて高校生部門特別賞を受賞。現在、大学受験に向けて勉強に励む日々を過ごしている。

私の人生は、キャンパスライフ+1コンテストに出場したことで、大きく変わったと実感しています。私がエントリーしたのは、「発展途上国に学校を建設したい」というものでした。この夢を持つきっかけになったのは、高校2年生のとき、全国各地の高校生が日本の大学入試や英語教育、地域問題や格差について熟議をし、文部科学省に提言を提出する会議に参加したことでした。この活動に参加するまで、私は教育に対して関心が薄く、自分たちでは変えられないものと思っていました。しかし、活動に参加し、強い気持ちがあれば「自分たちでも教育を変えられる可能性がある」ということや、同じ高校生でも全国には多様な考えを持った人がたくさん

**自分の将来に向き合った1年間
NPO団体を立ち上げ国際問題を解決したい**

いることを学びました。その経験を活かし、教育に携わりたいと思うようになったのです。
そして、その思いを持ちキャンパスライフ+1コンテストに参加。プレゼンに向けて自分の考えや意志を整理することで、すべきことが明確に。加えて、自分の夢を人前で発表したことで自分の発言に責任を持つようになりました。それにより、他の課外活動にも積極的に参加するようになるなど、より高いモチベーションを持ち日々過ごしています。そのような中、ブルキナファソという国の教育に携わるチャンスもいただきました。
今後は大学に進学し、国際情勢や国際経済について学び、将来は国際問題の解決に携われるよう、これからもがんばりたいです。

**菅原さんの
"夢Before⇔After"**

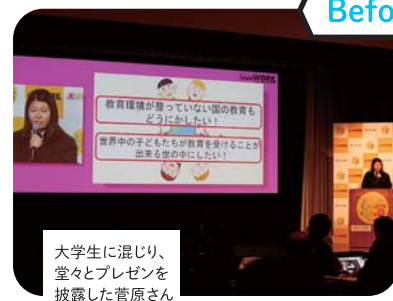
Before	After
17歳	17歳
ゼロ	ほぼ毎日
ゼロ	約10%

Campus Life+1コンテスト参加後に交換留学生としてタイの高校へ。現地の教育について学ぶ



After

世界情勢について調べる菅原さん。受験勉強をしつつ、自分の夢に向き合う日々を過ごしている



Before

大学生に混じり、堂々とプレゼンを披露した菅原さん

**2017年
開催決定**

【応募資格】●現在、大学(院)生、短大生、専門学校生、高校生、高等専門学校生、高等専修学校生の方(20歳未満の方は保護者同意の上ご応募ください) ●日本国内に在住している方。国籍は問いません。 ●団体での応募も歓迎(最終選考出場は1チーム5人までとする) ●2017年12月に東京にて開催予定の最終選考に参加いただける方※詳細は一次選考合格の方へご連絡の際にお知らせいたします。 ●過去に「Campus Life+1」にご応募いただいた方の応募も可能です。

右下のURL、2次元バーコードからサイトにアクセスし、必要項目をご記入ください。

エンタク 検索 <http://entac.jp/>

応募期間:2017年4月3日(月)~2017年10月29日(日)



主催: **ENTAC!**

協賛: **TOWNWORK**

お問い合わせ先: 学生コミュニティサロン「エンタク!」
TEL052-241-8100 (受付時間/平日9:00~18:00)

RECRUIT